

<Y-BASE コンサル優良実装事例> データ可視化によるサービス需要充足度の検証

空港と主要都市間のバス路線の利便性向上に向けた増便の必要性を確認するため、人流データや乗車実績を統合的に分析したことで、現行の運行体制で概ね充足しており、性急なサービス拡充は不要であることが確認されました。

概要


相談者		自治体 様
カテゴリー	目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> 社会課題の解決
	ソリューションサービス	<ul style="list-style-type: none"> データ可視化・分析
相談内容		<ul style="list-style-type: none"> 空港と主要都市間のバスの利便性を高めるために、増便等を行うべきか判断したい ✓ 現在は1日1便（定期便）等の限定的な運行であり、利用者の利便性を損ねていないか懸念がある ✓ 実際の来訪者の移動パターンや季節ごとの需要変動が不透明であり、採算が取れるかの客観的な判断材料がない
支援内容		<ul style="list-style-type: none"> 人流データ等を用いた移動実態の可視化 採算性・拡充可能性の評価

コンサル詳細

データの可視化・分析

来訪者の移動軌跡および滞在実態の分析


- 来訪タイミングや移動手段
- 主要都市ごとの滞留時間
- 時間帯・属性別の移動傾向



サービス需要充足度の検証


データに基づく事業性・採算性の評価


- 季節変動による影響度
- 事業者目線での採算性
- サービス拡充に向けた需要



検証結果

- 需要は限定的かつ季節変動が大きく、単なる増便は採算面で厳しい状況であることを確認
- 現状の運行体制で概ね充足しており、性急な路線のアップデート（増便等）は見送る判断となった





人流データの分析を通じて移動需要を客観的に評価し、サービス拡充の判断に貢献しました